

前回の懇談会における主な委員意見について

1 懇談会における意見

| No. | 項目 | 意見 | 回答, 対応案 |
|-----|-------|---|---|
| 1 | 成果の整理 | ・次年度以降, 行政改革の成果としての経費削減効果の整理について。経済環境が, 平成 19 年度までと平成 20 年度以降とでは大きく違うという点に留意し, 経済環境が変わったなりの削減効果の整理に心掛けてほしい。 | ・次年度以降の, 改革成果の整理・公表の際の参考とする。 |
| 2 | 成果の整理 | ・今後, 改革の成果を整理・公表する際には, 市民により理解してもらうため, 比較指標を設定した上で, 自治体としての「強み」と「弱み」を自己分析してはどうか。 ・また, 透明性や公平性を確保するという観点から, 第三者が取りまとめたものも参考にし, 必要に応じて, その内容を取り入れることも検討してはどうか。 | ・次年度以降の, 改革成果の整理・公表の際の参考とする。 |
| 3 | 成果の整理 | ・都市の状況や特性により, 数字の持つ意味は変わってくる。豊田市のように原因がはっきりしている場合であればいいが, 対外的には把握できない理由により, 経費が非常に少ないというケースもあるかもしれない。数字の背後にある状況をすべて把握できない中で, 他市比較や評価を行うのは, 難しいかもしれない。 | ・次年度以降の, 改革成果の整理・公表の際の参考とする。 |
| 4 | 表現 | ・「最少の経費で最大の効果」という表現。「さいだい」, 「さいしょう」という場合には, 「小さい」の方の字が自然だと思う。 | ・御意見を踏まえ, 市民に分かりやすくなるよう, 「最少の経費」の表現を「より少ない経費」に修正する。 |

| No. | 項目 | 意見 | 回答, 対応案 |
|-----|----|---|--|
| 5 | 表現 | ・行政用語は難しいので, 市民が分かるような文案や言葉遣いとすべき。 | ・市民に分かりやすくなるよう, 御意見を踏まえながら, 今後の策定作業を進める。 |
| 6 | 構成 | ・「市民の力の発揮」の項に「民間活力導入の推進」が位置付くことに違和感を覚える。「民間活力」や「指定管理者」というと, 企業が受託者となる場合が多く, 一市民がその力を発揮できる領域は少ないのではないか。 | ・大綱では, 企業やNPOを含め, まちづくり活動に関わるすべての個人や団体を「市民」ととらえ, 策定している。 ・市民に分かりやすくなるよう, 御意見を踏まえながら, 今後の策定作業を進める。 |
| 7 | 表現 | ・それぞれの改革の柱に付された副題の中で, 一つ目の改革の柱の副題「自治の仕組みの『構築』から『定着』へ」が, 他の3つと比較して, 弱く感じる。一步踏み込んだ, より目を引く表現としてはどうか。 | ・市民に分かりやすくなるよう, 御意見を踏まえ, 表現を修正する。 |
| 8 | 表現 | ・三つ目の改革の柱の副題, 「3S市役所の実現」について。3Sや5Sは, 世間で使い古された感がある。別の表現を検討してはどうか。 | ・市民に分かりやすくなるよう, 御意見を踏まえ, 表現を修正する。 |
| 9 | 表現 | ・改革の基本目標の2行目の「市民感覚に基づく市民主役の行政経営の実現」について。「市民」という表現が立て続けに用いられているので, 修正してはどうか。 ・基本目標の副題に, 「市民福祉の向上」とあるが, 取組を総括する基本目標の中に「福祉」という表現が唐突に入ることに違和感を覚える。 | ・市民に分かりやすくなるよう, 御意見を踏まえ, 表現を修正する。 |
| 10 | 表現 | ・宇都宮市の行政改革大綱であることが分かるよう, 「宇都宮市」, 「宇都宮市民」の文言を散りばめつつ, できるだけやわらかい表現で, 文章を書くべき。 | ・市民に分かりやすくなるよう, 御意見を踏まえ, 表現を修正する。 |

| No. | 項目 | 意見 | 回答, 対応案 |
|-----|-------|--|---|
| 11 | 改革の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・これからは、自分たちの団体の活動の中でも、「自治の仕組みの定着」、「市民の力の発揮」という部分を大切にしたい。また、可能な範囲で、行政も市民の活動を支援願いたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・御意見を踏まえながら、この大綱に基づく今後の取組を推進する。 |
| 12 | 構成 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料中の「策定の趣旨」と「4 新たな行政改革大綱の策定の必要性」の内容が多少、重複しているので、整理してはどうか。 ・資料中の「3 現状を踏まえた課題」の部分が浮いているように感じる。市民が分かりやすい内容にするのであれば、例えば、「4 新たな行政改革大綱の策定の必要性」と順序を入れ替えるなり、「3」と「4」の表現を統合するなりしてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすくなるよう、御意見を踏まえ、表現を修正する。 ・特に、「3 現状を踏まえた課題」の部分については、「4 新たな行政改革大綱の策定の必要性」と統合するなど、読みやすい、自然な構成へと修正する。 |
| 13 | 表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・提示された基本目標には、「効果的・効率的に対応できる行政経営」、「市民感覚に基づく行政経営」、「市民主役の行政経営」という3つの意味が込められているので、1行にした上で、句読点で区切るべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすくなるよう、御意見を踏まえ、表現を修正する。 |
| 14 | 改革の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・税理士会では租税教育を進めている。今後、行政改革を進める際、具体的な取組を検討する場面で、何らかの参考にしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・御意見を踏まえながら、この大綱に基づく今後の取組を推進する。 |
| 15 | 表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすい大綱にするためには、全般的に表現を簡潔にすべき。長い文章、回りくどい文章は、市民にはあまり好まれない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすくなるよう、御意見を踏まえながら、今後の策定作業を進める。 |
| 16 | 改革の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・行革では、経費削減を第一に考え、効果を上げている。その際、非常勤職員等を多く雇用すること自体はいいが、やはり正規職員と非正規職員の役割分担を明確にすべき。職員の心や身体に配慮した経費削減の取組を期待したい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・御意見を踏まえながら、この大綱に基づく今後の取組を推進する。 |

| No. | 項目 | 意見 | 回答, 対応案 |
|-----|------|---|---|
| 17 | 推進指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・改革の取組の進捗状況を測る基準はいろいろとあると思うが、それをどの程度、今回の大綱本体に組み込むのかについては、検討の必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすくなるよう、御意見を踏まえながら、今後の策定作業を進める。 ・進捗状況の指標については、大綱を具体化するための、「行政改革推進プラン」に掲げる取組ごとに、具体的な目標を掲げるとともに、取組がどの程度進んだかを、毎年度、整理・公表する。 |
| 18 | 推進指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・大綱の推進にあたっては、大綱自体に大きな目標値を定めてあった方が進捗管理しやすく、また、分かりやすさにもつながると思う。 ・これまでも、具体的な取組については、数値目標が設定できるものについては、可能な限り、設定したいとの回答が事務局から出ていたので、だとすれば、大綱の中でも、ある程度、数値目標を持った方が分かりやすいと思う。 | |
| 19 | 推進指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・大綱とは「改革の大きな方向性」を掲げるものであり、大綱に基づく具体的な取組については、大綱とは別に作成すべきだと思う。 ・大綱自体に目標値を設定するという問題意識は理解できるが、数値目標を出すというのは逆に行動を縛ることにも繋がる。 ・大綱の中で具体的な数値目標を設定するというのは、有意義であるが、難しいのではないか。 | |
| 20 | 推進指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標は、具体的な取組ごとに設定されるべきであり、その進捗状況については、来年以降の推進体制、推進方法の中でカバーされるはず。 ・大綱の中では大枠までを提示し、来年以降の推進のための組織、歯車が具体的な取組の推進状況をチェックすることとしてはどうだろうか。 | |

| No. | 項目 | 意見 | 回答, 対応案 |
|-----|----|--|--|
| 21 | 表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・改革の基本目標に、「市民生活を確実に守る」という趣旨の表現を挿入することを検討してはどうだろうか。 ・激動の時期にあればこそ、市民生活の最低水準に係る部分は確保するという強い意気込みを市には持ってほしい。 ・スリム化を進めるべき部分はもちろん削減・効率化していかなければならないが、スリム化を進めるべきではない部分、例えば、市民生活の根本に係る部分については、きちんと対応していくという内容を盛り込むべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標は、健全な行財政基盤の確立など、行政改革が目指すものを記載するものであることから、御意見については、大綱策定の必要性の部分において、強調して記載する。 |

2 懇談会以降、FAX等で寄せられた意見

| No. | 項目 | 意見 | 回答、対応案 |
|-----|-------|---|---|
| 1 | 改革の視点 | <p>【これまでの懇談会におけるキーワードとなる意見】 『格差拡大と弱者の救済』、『市民の生活を守る』、『高齢化社会での現場の大変さ』、『セーフティネット』、『NPO活動等における現場の困りごと・行政への期待』、『国・県レベルでの財政見直しの影響、宇都宮市としての負担増の懸念』、『経済状況に対する危機感の不足』、『予測困難でスピードの速い政治経済の変化』、『市財政においても予測が難しい』、『財政枠には変化に対する自由度が必要』</p> <p>【第4次行政改革に求められる視点】 平成27年以降に予測される宇都宮市における人口減社会の到来や、少子高齢化の進行に対応するため、宇都宮市民一人ひとりの生活を守ることを前提条件とした行政改革を推進する。</p> <p>厳しい経済情勢下での5ヵ年計画であり、予測困難な変化への耐力と財政上の自由度確保が必要なことから、これまでの行政改革の取組の成果を生かしながら、行政と宇都宮市民の協働による新たなまちづくり・地域社会の再構築を積極的に実行する。</p> | <p>・市民に分かりやすくなるよう、御意見を踏まえながら、今後の策定を進める。</p> |